

令和7年2月12日

データサイエンス施策提案発表 ～福島大学生がデジタルデバйд対策事業に関する施策を提案～

福島大学にて、本市が提供したオープンデータの分析を通して本市の施策立案を行う「プロジェクト型演習」である「データサイエンス実践演習」を受講した学生が、最終報告として施策提案の発表を行います。

記

- 1 日 時： 令和7年2月17日(月) 午後2時～午後3時30分
- 2 場 所： 福島市役所 4階 庁議室兼防災対策室
- 3 内 容： 高齢者向けスマホ教室等のニーズ分析

グループNo	分析した内容、施策検討の手法と方向性
1	スマートフォン利活用支援講座、デジタルサポートデスクの利用者の属性、開催時間や会場（地区）、実施内容について、分析・検討した。
2	「福島市のデジタル化に関するアンケート」調査結果をもとに、高齢者のデジタル、スマートフォンに対する態度・意識について、分析・検討した。
3	スマートフォン利活用支援講座の広報チラシについて、市民の興味を引き立たせるものになっているかを行動科学・ナッジの観点から検討した。
4	デジタルサポートデスクの広報チラシについて、市民の興味を引き立たせるものになっているかを主に心理学の観点から検討した。

- 4 発表者： 福島大学生 14名(予定)

担当:政策調整課 広域連携推進係
課長 菅原、主任主査兼係長 古川
電話 024-525-3788(直通)